

南相馬市除染作業及び除去土壌等の 保管管理業務委託プロポーザル講評

今回のプロポーザル方式の審査は、一次、二次の2段階にて行った。一次審査では、「応募事業者の経歴・理念」、「目標の妥当性」、「進め方の妥当性」、「新規性」、「実用性」、「地域貢献」の6つの評価項目に基づき書類審査を行い、応募のあった6企画提案者から上位4企画提案者を選定した。二次審査では、4企画提案者からのプレゼンテーション及び委員によるヒアリングの後、委員会において審査選考を行い、受託候補者 竹中JV、次点事業者 大成JVを選定した。

受託候補者に選定された竹中JVについては、この業務委託期間の2年間で、市民、企業、市民団体と連携を取りながら、段階的に除染技術等を地元企業等に伝承するなど、地域の振興、復興に向けた企画提案となっていることを評価した。また、今回の除染業務終了後には、復興営業所の設置を予定しているなど、継続的な支援を計画しており、上記と併せて、今回の除染を長期的な視点に立ち、復興の過程に位置づけていることを高く評価した。

加えて、より良い南相馬市の除染を実施するため、事前に市内240世帯の現地調査をしているなど、南相馬市の汚染状況等の把握に努めており、実態に即した提案内容であることも評価した。除染の技術に関しても、地道な研究姿勢がみられ、今後更なる進歩が期待できる。具体的には、建築部材の特性に応じた除染効果の実証や、建築部材破損状況に応じての影響調査など、こと細かな研究を実施していること、また、新たな知見が出てきた場合に、積極的に取り入れるなどの研究姿勢を評価した。

その他、放射線の影響を受けやすい妊婦や子どもがいる世帯を優先的に除染するために、専門部隊を設けるなど、より積極的な提案があった。若い世代が、安心して暮らせる環境を、いち早くつくることが、市全体の復興に欠かせないため、早期実現を期待したい。

次点事業者を選定された、大成JVについては、南相馬市での除染の実績に基づいた提案であること、また、樹木の高所剪定機を利用するなどの新技術やアイデアを取り入れている点を評価した。加えて、海外における知見や技術を活用しようとしている点も評価できる。更に、妊婦や子どもがいる世帯を優先する提案となっている点は評価できる。

しかし、一部、企画提案を実行するための具体性を欠いていたのが惜まれる。

今回のプロポーザル方式による選考は、高い除染技術を持ち併せていると共に、南相馬市の除染を成功させるための企画提案となっていることが重要なポイントであった。今後、この提案内容を実行し、市民のための除染を推進されることを期待する。

平成24年2月23日
南相馬市除染推進委員会